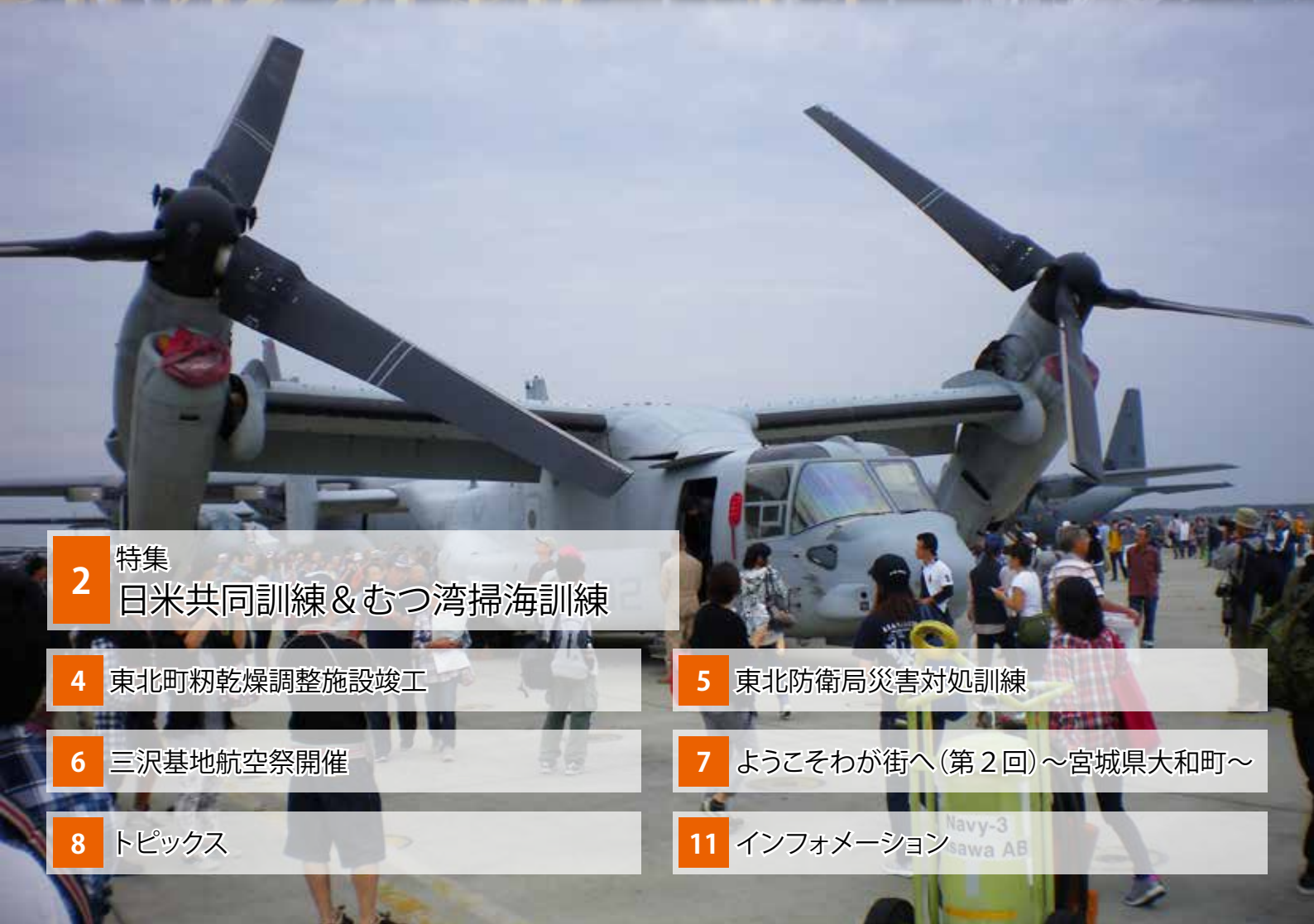


東北防衛局広報紙 (東北6県の防衛に関する情報紙)

東北防衛局
防衛省

東北のかなめ

vol.32 (2015.9)



2 特集
日米共同訓練&むつ湾掃海訓練

4 東北町粉乾燥調整施設竣工

6 三沢基地航空祭開催

8 トピックス

5 東北防衛局災害対処訓練

7 ようこそわが街へ(第2回)~宮城県大和町~

11 インフォメーション
Navy-3
Sawa AB

日米共同訓練オリエン特・シールド

日米共同訓練「オリエン特・シールド」が9月10日から21日までの12日間、王城寺原演習場（宮城県大和町、色麻町及び大衡村）及び大和駐屯地（宮城県大和町）を使用して実施され、日本側からは陸上自衛隊第6師団第44普通科連隊（福島）約1,280名、米側はアラスカ陸軍第1―25旅団5―1大隊（アラスカ州フォート・ウエインライト）などから約430名が参加しました。

王城寺原演習場での日米共同訓練は、今回で5年ぶり10回目となります。この訓練は、日米の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における連携要領を実行動により訓練し、相互運用性の向上を図ることを目的とし、各種訓練を行いました。

米側においては、ホームビジットとして周辺的一般家庭を訪問し交流活動などを通じ、日本への理解を深めたことと思います。

本訓練は、宮城県、大和町、色麻町及び大衡村など関係機関や周辺にお住まいの方々のご理解とご協力を得て、無事に全日程を終了することができました。

東北防衛局は、訓練期間中、同演習場内に現地連絡所を設置し、不測の事態により迅速に対処することを目的として情報収集を行いました。

当局は、今後とも日米共同訓練の実施に際しては地元との連携を密にし、万全の態勢で臨んでいきたいと考えています。

(写真提供：第6師団)



むつ湾掃海訓練



1



2



3



4

7月18日から30日までの間、青森県陸奥湾において、平成27年度むつ湾掃海訓練が実施され、無事終了しました。同訓練は、訓練機雷を使用としての機雷敷設や掃海、潜水など大変重要な訓練で、湾内の一部海面について漁船の操業を制限、又は禁止し実施しているものです。

本訓練に先立ち、東北防衛局では、訓練が円滑かつ安全に実施出来るよう関係漁業協同組合等と数回に亘り調整を重ね、ご理解を頂き、また、海上自衛隊地方大湊総監部では、制限期間前の7月15日、当局及び地元自治体、関係漁業協同組合等の立会のもと、大湊地方総監部所属の支援船により訓練水域における海面調査を実施し、漁具・漁網が無いことの確認を行いました。

むつ湾掃海訓練は、今回で通算33回目の実施となり、昨年引き続き、米海軍が参加しました。なお、当局においては、今回のむつ湾掃海訓練海面の制限に伴う関係漁業者に対する漁業損失補償に係る手続きを進めておりますので、引き続き、関係各位のご協力をよろしくお願い致します。

訓練期間中の7月20日、当局では、訓練の見学会を開催し、掃海艇内での訓練概要説明及び実際の訓練状況を見学していただき、関係者の方々に訓練の必要性等についてより一層のご理解を深めて頂きました。また、翌21日には、齊藤雅一東北防衛局長が、訓練で使用する機材（掃海具）及び展示訓練等の視察を行いました。

- 1 投下される掃海具
- 2 掃海母艦
- 3 米海軍掃海艇
- 4 掃海具の操縦員

東北町粃乾燥調整施設竣工

9月11日、東北町の小川原^{こがわら}ライスセンターにおいて、東北防衛局補助事業により設置した粃乾燥調整施設の竣工式が開催されました。

竣工式には、施主である竹ヶ原幸光十和田おいらせ農業協同代表理事組合長をはじめ、斗賀壽一東北町長、江渡聡徳衆議院議員、蛇沢正勝青森県議会議員、齋藤雅一東北防衛局長など多数の方々が出席し、竹ヶ原組合長からは、「十和田おいらせ農協ではじめての防衛省補助事業で、念願の施設が完成しました。稲作経営を軸に地域農業の発展に努力してまいります。」と式辞が述べられ、齋藤局長からは、「本施設の重要性を深く認識するとともに、防衛施設の円滑な運用と周辺地域の農業経営の安定化を図るべく、今後とも皆様の生活



完成した粃乾燥調整施設 (写真提供: J A十和田おいらせ)

青森県議会議員、齋藤雅一東北防衛局長など多数の方々が出席し、竹ヶ原組合長からは、「十和田おいらせ農協ではじめての防衛省補助事業で、念願の施設が完成しました。稲作経営を軸に地域農業の発展に努力してまいります。」と式辞が述べられ、齋藤局長からは、「本施設の重要性を深く認識するとともに、防衛施設の円滑な運用と周辺地域の農業経営の安定化を図るべく、今後とも皆様の生活



左から江渡衆議院議員、斗賀町長、齋藤局長、蛇沢県議会議員



祝辞を述べる齋藤局長



導入された色彩選別機

の安定及び福祉の向上に寄与するよう、積極的に取り組んで参る所存であります。」と祝辞が述べられました。

十和田おいらせ農業協同組合の農業振興に大いに寄与する施設となっております。

本施設は、鉄骨造平屋建(一部5階建)延べ床面積約1,640㎡で、1日210トンの乾燥調整能力を有し、遠赤外線方式と自然乾燥方式を併用した粃に優しい精密な乾燥及び高度な自主検定装置や色彩選別機による良好な品質管理が全自動で行われる最新の粃乾燥調整施設です。また、そばの乾燥調整設備も別途配備するなど、多岐にわたる使用が可能となることから、今後、東北町及び稼働を開始しています。

東北防衛局では、本施設の重要性に鑑み、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第8条に基づき、民生安定事業の農業用施設(粃乾燥調整施設)として、平成25年度から平成27年度までの間、事業費約8億4千万円に対し、補助率3分の2として約5億6千万円を補助しています。

本施設では、9月中旬から今年の収穫米の受け入れを行い、本格的に稼働を開始しています。

東北防衛局災害対処訓練

東北防衛局では、9月7日、平成27年度東北防衛局災害対処訓練を実施しました。

今回の訓練は、当局の緊急事態への対応能力の向上のための取り組みの一環として、①昨年の訓練での問題点を踏まえ改正された規則等の実効性の検証、②職員の練度向上、③規則等の理解向上を目的として実施しました。

本訓練では、午前8時に宮城県沖を震源地とするマグニチュード9.0（震度6強）の地震が発生したと想定し、齋藤雅一東北防衛局長が第3種非常勤務を発令したことを受け、職員の呼集連絡、安否確認、徒歩による緊急登庁が行われました。その後、登庁した職員により対策本部が設置され、東北方面総監部及び宮城県庁へ連絡員が派遣されました。午前9時半には、第1回対策本部会議が開催され、総務、企画・運用、情報及び技術支援各班から各班の対応状況が対策本部長である齋藤局長へ報告されました。

さらに、第3回対策本部会議では、調達部で構成される技術支援班から、映像伝送装置を用いて自衛隊施設の被害状況を報告しました。

今回の訓練では、これまでと異なり訓練統裁部からその都度、状況が付与されるなど、本番さながらに実施され、状況が付与されると対策本部では慌しく対応する場面が見られました。

訓練は、午後3時45分に開催された第3回対策本部会議をもって終了し、齋藤局長からは、「防衛本省との連携についても訓練を実施した。また、地元自治体から要望があった場合の対応については、当局の状況を踏まえ対処すべき。」と所見が述べられました。

訓練実施後、各訓練項目の実施結果や参加者の意見などを踏まえ、規則等を精査し、さらに緊急事態に備えた組織づくりを行うこととしていきます。



1



2



3



4



5



6



7



8

- 1 被害状況を取りまとめる当直員
- 2 東北方面総監部などへ出発する連絡員
- 3 齋藤本部長へ第一報を報告
- 4 様々な状況を付与する訓練統裁部
- 5 被害状況を図上へ書き込む本部要員
- 6 第1回対策本部会議
- 7 非常用食料の配布
- 8 自衛隊施設の被害状況の報告

三沢基地航空祭開催



9月13日、航空自衛隊三沢基地(青森県三沢市)で三沢基地航空祭(Air Festival 2015 in Misawa Air Base)が開催され、県内外から約10万人が訪れました。

三沢基地は、創設以来、北部防衛を担う重要な基地として、また、アジア・太平洋地域の安定化の一翼を担う基地として、日米共同の実績を着実に重ねつつ、今日まで発展してきました。

当日の三沢地方はあいにくの天候となり、ブルーインパルスによる展示飛行などが中止となりましたが、米軍三沢基地に一時配備された米空軍グローバル・ホークが昨年に引き続き公開されたほか、MV-22オスプレイが三沢基地航空祭では初公開され、グローバル・ホーク及びオスプレイの写真撮影に熱中する航空機ファンで埋めつくされていました。

今回の航空祭では、日米の様々な装備品の展示が行われ、家族連れで賑わいました。

(写真提供…第3航空団)



MV-22オスプレイ



E-2C



RQ-4グローバル・ホーク



81式短距離地对空誘導弾



EA-18Gグラウラー



北部航空音楽隊による音楽演奏会

ようこそそわが街へ(第2回)〜宮城県大和町〜



写真・文章ともに大和町提供

縁結びのまち

大和町

大和町は昭和30年4月に合併により発足し、今年で60周年を迎えました。陸上自衛隊大和駐屯地は町発足の翌年に開設され、当町は、駐屯地との信頼関係を築きながら農工併進のまちづくりを進めてきました。近年は、自動車関連の企業などが多数進出し、若い世代の転入が増え、人口も増加しています。

また、江戸時代後期、過酷な税負担に苦しむ仙台藩の宿場町吉岡宿(現大和町吉岡)を救おうと、私財を投げうって庶民救済に奔走した9人の商人らを書き残した「国恩記」。

その内容は、千両の資金をかき集めて仙台藩に貸し付け、その利子を町内二百戸に毎年配分した救済事業です。「武士の家計簿」の著者で、磯田史氏の「無私の日本人」に収められた小説「穀田屋十三郎」はこの

形をした飴を奉納したところ、病は回復し、神主は村の人々に感謝の意を込めて縁結びの祭事を催すようになったのが始まりだと伝えられています。

島田飴は伝統的な縁起物の飴で、この飴を求めれば良縁に恵まれると

されており、まつり当日には良縁を願う多くの参拝者で賑わっています。平成16年からはこの謂れを再現した花嫁道中行列が行われています。

また、江戸時代後期、過酷な税負担に苦しむ仙台藩の宿場町吉岡宿(現大和町吉岡)を救おうと、私財を投げうって庶民救済に奔走した9人の商人らを書き残した「国恩記」。

その内容は、千両の資金をかき集めて仙台藩に貸し付け、その利子を町内二百戸に毎年配分した救済事業です。「武士の家計簿」の著者で、磯田史氏の「無私の日本人」に収められた小説「穀田屋十三郎」はこの

国恩記を題材にしたもので、当町を舞台にした無私の心が再び注目を集め、「殿、利息でござる」のタイトルで、来年夏に全国上映されます。

縁結び、そして人情のまち、大和町へぜひともお越しください。

岩手山山開きへ参加



山開き行事で挨拶する齋藤局長

7月1日、滝沢市長からのご招待を受け、岩手山の麓には、岩手山中演習場などが所在していることから、地域住民の皆様のご理解・ご協力をより一層深めるため、齋藤雅一東北防衛局長をはじめ職員11名が岩手山山開き（標高2,038m）に参加しました。

当日は、安全祈願を行った後、テープカットとともに山登りが行われました。悪天候のため、山頂で予定されていたセレモニーは中止となりましたが、時折見せる岩手山の豊かな自然に思いをはせながら、岩手山を登りました。

優秀工事顕彰状の授与



優秀工事担当企業へ顕彰状を授与

7月1日、平成26年度に完成した工事等の中から優秀工事として選定された企業5社に対し、黒田裕司調達部長から顕彰状が手渡されました。

○昭和建設株式会社

三沢米軍(23) 給電(429) 受電所等新設土木工事

○株式会社関電工東北支社

三沢米軍(25) 給電(429) 構内外線等整備工事

○有限会社中村建設

三沢米軍(25) 給電(429) 周波数変換所等新設土木工事

○東北建設株式会社

陸自八戸(24) 訓練施設新設土木工事

○株式会社東海テック

加茂(24) ボイラー換装等機械その他工事

部外講師による講演会の開催



講演する連絡協議会会長

東北防衛局では、多方面の分野で活躍される識者を講師としてお招きし、職員向けの講演会を開催しています。

平成27年度第1回目となる講演会は、7月9日、仙台管区气象台から講師をお招きし、また、9月10日には第2回目の講演会を開催し、仙台市宮城野区福田地区町内会連絡協議会会長を講師にお招きし、ご講演いただきました。

当局では、各種の災害に日頃から備えていますが、東北地方でどのような災害が起こり得るかを想定するなど大変良い機会となりました。

女性職員による座談会



座談会の様子

7月17日、女性職員（係員）による座談会を開催しました。

この座談会は、男女共同参画推進の一環として女性が働きやすい勤務環境の実現を目的として初めて開催したものです。女性職員からは、職場に対し、①男性職員（課長補佐以上）による座談会の開催、②男性職員による育児休暇取得の強力な推進との提言がなされました。

当局では、提言の実現に向けて努力するとともに、女性職員の活躍推進に向けた環境づくりに取り組んでまいります。

政策広報やっています！



八戸航空基地での様子

東北防衛局では、7月18日・19日に開催された護衛艦「ちくま」in仙台港（宮城県仙台市）、9月6日に開催された八戸航空基地創立58周年基地祭（青森県八戸市）、9月13日に開催された三沢基地航空祭（青森県三沢市）で防衛省の政策や自衛隊の諸活動について幅広く国民の皆様様に理解を深めてもらうための政策広報活動を実施しました。

当局では、今後とも機会を捉えて、分かりやすく親しみやすい政策広報を実施して行く予定です。

山内装備施設本部長工場視察

7月29日及び30日、山内正和装備施設本部長、熊本義宏副本部長（武器需品担当）が、東北防衛局管内における防衛装備品等の製造状況について、齋藤雅一東北防衛局長、栗原眞喜子郡山防衛事務所長などの案内により工場を視察しました。

29日は、安全靴を製造する千厩工業株式会社（岩手県一関市）を訪問し、皮革の裁断、靴底や金具取付け・製甲、仕上げ等の各工程及び

製品の強度試験等を視察しました。

翌30日午前には、皮革製品を製造するミドリホクヨー株式会社（山形県山形市）を訪問し、皮革のなめし及び着色、裁断、縫製、仕上げ等の各工程を視察しました。

同日午後は、各種弾薬・砲弾を製造する日本工機株式会社白河製造所（福島県西郷村）を訪問し、小銃弾、機関銃弾、重火砲用弾薬の製造工程及び工場敷地内の試験区域にて20mm機関砲の実弾射撃試験を視察しました。

官製談合防止法等に関する教育



教育の様子

東北防衛局では、入札談合や発注機関が関与する官製談合の発生を未然に防ぐため、入札談合等関与行為防止法（いわゆる官製談合防止法）及び独占禁止法に関する知識の習得を目的とした教育を7月30日、8月3日に実施しました。

教育には、公正取引委員会事務総局東北事務所から講師をお招きし、「入札談合の防止に向けて」と題してご講演いただきました。

当局では、今後もこのような研修を実施し、入札談合の防止に努めてまいります。

米陸軍車力通信所指揮官交代



旧指揮官から新指揮官へ部隊旗の授与

7月30日、米陸軍車力通信所指揮官交代式が航空自衛隊車力分屯基地（青森県つがる市）にて行われました。

今回の交代式では、これまで指揮官を務めていたダグラス・W・ブラウン大尉に代わり、ジェームズ・コンプトン少佐が新たな指揮官となりました。

交代式後に行われた歓送迎会において、平松友和企画部長からブラウン大尉に対し、在任中の功績を称える東北防衛局長からの感謝状及び記念品を贈呈しました。

不忘平和記念公園記念碑除幕式



建立された不忘の碑

昭和20年、^{ふぼうさん}不忘山に米軍の爆撃機が墜落した事故で死亡した搭乗員34人を慰霊する「^{ふぼう}不忘平和記念公園」が完成し、8月2日、^{ふぼう}不忘平和記念公園祈念碑除幕式などが、宮城県七ヶ宿町で営まれ、齋藤雅一東北防衛局長が参列しました。

式典で、在札幌米国総領事ジョエレン・ゴーク首領領事は、「再び悲惨な歴史を繰り返さないよう立派な公園を造ったことに、平和を愛する米国民を代表して心から感謝します」と挨拶されました。

防衛白書が刊行

平成27年版防衛白書が7月21日、閣議で了承され、刊行されました。

防衛白書は、我が国の防衛政策への理解を深めていただくために毎年刊行しているものであり、平成26年版防衛白書の刊行から概ね1年を主な対象として、その間に発生した事象や取りまとめられた政策事項などを中心に記述しています。

東北防衛局では、幅広い理解と協力を得る地方協力確保事務の一環として、自衛隊地方協力本部と協力し、県知事や市町村長などへ防衛白書の説明を行っています。

平成27年版防衛白書の説明は、8月17日の青森県八戸市長から始まり、みなさまの自治体にもお伺いします。



佐竹秋田県知事への説明



三村青森県知事への説明

東北の主な自衛隊広報行事

自衛隊が今後予定している主な広報行事等は次のとおりです。ぜひ見に来てください！

開催日	イベント名	開催場所	問い合わせ先
10月3日(土)	福島駐屯地 創立61周年記念行事	福島駐屯地 (福島県福島市)	福島駐屯地広報室 024-593-1212 (内線204)
10月4日(日)	第42警戒群 創設60周年記念行事	大湊分屯基地 (青森県むつ市)	第42警戒群本部総務係 0175-24-1191 (内線203)
10月11日(日)	大和駐屯地 創立59周年記念行事	大和駐屯地 (宮城県大和町)	大和駐屯地広報班 022-345-2191 (内線201)
11月23日(月)	平川市 ふれあいコンサート	平川市文化センター (青森県平川市)	自衛隊青森地方協力本部 弘前地域事務所 0172-27-3871
11月28日(土)	北通り クリスマスコンサート	北通り総合文化センター 「ウイング」 (青森県大間町)	大湊地方総監部総務課広報係 0175-24-1111 (内線2304)
12月6日(日)	第40回 第6音楽隊定期演奏会	やまぎんホール (山形県山形市)	第6師団司令部広報班 0237-48-1151 (内線5374)
12月10日(木)	第28回 秋田自衛隊音楽まつり	秋田市文化会館 (秋田県秋田市)	秋田駐屯地広報室 018-845-0125 (内線361)
12月11日(金)	クリスマスコンサート	下北文化会館 (青森県むつ市)	下北文化会館 0175-22-8411

※事前の申し込み、入場整理券等が必要なイベントもありますので、お出かけの前に問い合わせ先にご確認ください。

東北防衛局が送るラジオ番組

東北防衛局では、防衛省・自衛隊の各種施策について、地方公共団体及び地域住民から幅広い理解と協力を得ることを目的とした地方協力確保事務の一環として、防衛政策や自衛隊・米軍の活動状況等について、短時間で分かりやすく伝えるラジオ番組、「日本の防衛Q & A」などを以下のとおり放送しております。過去には、防衛局で働く若手職員による業務内容の説明や、防衛大臣へのインタビューなども放送しており、今後も、基本的な防衛政策からニュースを賑わせている防衛課題まで、様々な話題を幅広く放送する予定です。是非ともお聞きください。

「日本の防衛Q & A」放送日

青森県

放送局	周波数	放送日時
FM Azur	76.2MHz	最終火曜日 9:35
FMごしょがわら	76.7MHz	第3水曜日 18:06
FMアップルウェーブ	78.8MHz	第3土曜日 10:15
FM JAIGO WAVE	76.3MHz	第1月曜日 12:20
Be FM	76.5MHz	毎週土曜日 11:50

秋田県

放送局	周波数	放送日時
秋田コミュニティ放送	76.5MHz	第2金曜日 13:20
エフエム樺台	79.6MHz	第1、第2月曜日 12:00
FMゆーとぴあ	76.3MHz	第2土曜日 12:47

山形県

放送局	周波数	放送日時
ハーバーラジオ	76.1MHz	第1日曜日 12:00
ラジオモンスター	76.2MHz	第3木曜日 9:30
おらんだラジオ	77.7MHz	第4火曜日 13:30
エフエムNCV	83.4MHz	第4土曜日 9:50

岩手県

放送局	周波数	放送日時
ラヂオもりおか	76.9MHz	第1土曜日 7:30
宮古ハーバーラジオ	82.6MHz	第2火曜日 12:30
FM One	78.7MHz	第2月曜日 11:45
奥州エフエム	77.8MHz	最終土曜日 10:50

宮城県

放送局	周波数	放送日時
はっとエフエム	76.7MHz	第1土曜日 14:49
ラジオ石巻	76.4MHz	第2水曜日 14:30
BAY WAVE	78.1MHz	第1月曜日 9:45
fm いずみ	79.7MHz	最終水曜日 14:00
ラジオ3	76.2MHz	第4水曜日 15:40
エフエムいわぬま	77.9MHz	第1火曜日 8:45

福島県

放送局	周波数	放送日時
FM POCO	76.2MHz	毎週水曜日 12:58
FM モットコム	77.7MHz	第1金曜日 13:10
FM きたかた	78.2MHz	毎週土曜日 9:00
エフエム会津	76.2MHz	第1火曜日 18:20
FM いわき	76.2MHz	第1水曜日 8:28

その他の番組については、以下のホームページで確認してください。

○自衛隊インビテーション（自衛隊宮城地方協力本部）<http://www.mod.go.jp/pco/miyagi/inbite/inbiteshon.html>

○自衛隊百科（ラジオモンスター）<http://www.fm762.co.jp/>